ガス爆発で火災発生

西堀ローサで消防訓練

「ガス爆発による火災被害を最少限に押えよう」と、十月二十日、西堀地下街の西堀ローサと西堀6番館で、大がかりな合同消防訓練が行われました。

この訓練は、予告なしに突如として発生する地震に対応できる防火管理、防御体制を確立し、地震被害を最少限にとどめることを目的に実施されました。

午前八時二十八分、佐渡沖五の地震が発生、西堀ローサ十五㌔にマグニチュード七・爆発、火はまたたくまにローの飲食店でガス漏れが発生しサと6番館に延焼し、爆風によるケガ人と逃げ遅れた人が6番館の屋上に取り残された、との想定で訓練が行われました。

ガス漏れ発生後、西堀ローザ防災センターは直ちに消防局と北陸ガスへ通報しました。

七番街の通路では、発煙筒の煙がモクモクと立ち込める中、自衛消防隊が消火器と消火栓ホースで消火を開始。爆風で吹き飛ばされ、骨折などの重傷を負った人は、タンカで運ばれていきました。

一方、避難誘導班は、場内放送で地下駐車場の利用者を安全な出口へ誘導しました。

西堀ローサから出た火災は、エスカレーター、階段より、またたくまに西堀6番館に移り、逃げ遅れた客や従業員十数名は屋上へ避難して救助を待ちました。

火災発生後、消防局のはしご車や救急工作車、ポンプ車など九台が直ちに現場に到着。はしごがスルスルと屋上に伸びて、逃げ遅れた人を救助しました。

訓練には、ローサと六番館の従業員約三百人が参加、真剣な面持ちで行動していました。

市役所本庁前には、ダイコンやキャベツ、長ネギ、トマト、キュウリ――など十五品目が並べられました。

全部市価より二、三割安いとあって、即売会の一時間ほど前から主婦らがつめかけ行列ができるほど。二時間足らずの間に、ほとんどの商品が売り切れ、好評を博しました。

逃げ遅れて、屋上へ避難した人をはしご車が素早く救助しました(西堀6番館で)

クローズアップ

市食生活改善推進委員として15年、活動を表彰された

川村好子さん(四十六歳・小針台)

新潟市食生活改善推進委員。ちょっと堅い名前だが、「保健所主催の離乳食、うす味料理、貧血予防などの講習会のお手伝いをしています」と川村さん。お手伝いといっても、実際は会場設定、献立作成、講師依頼、地域への呼びかけ、はては子守りまでも引き受ける。

委員の数は約四百人。東・西保健所で毎年開く「栄養教室」の修了者に対し、保健所長が依頼している。誕生して十五年、さる十三日には記念のつどいが開かれ、川村さんに感謝状が贈られた。

川村さんは、第一回の栄養教室の受講生。「検査で主人に糖が出たんですよ。食事で直してあげることができればと思って。主婦であればだれでも主人に長生きしてほしいでしょう」以来十五年、「三色会」というグループに属し、推進委員として活躍してきた。

「今は各地にりっぱな公民館ができて、調理実習室も整備されましたが、昔は講習会をやるというと、鍋、釜、まな板、皿まで持っていったんですよ(笑い)」

乳製品を普及させるためキッチンカーで調理実演したり、講習会の献立を考えたり。「一回講習会を開くためには、献立研究会を開き、何回も作り直して、やっと一日分を作るんです」

「昔は病人食というイメージが強かったけど、今は、バラエティに富んで見た目もいいし、おいしいですよ」。十五年の成果である。「よく続いたと思います。いい仲間がいたからでしょうね」

高血圧、肥満、糖尿病…。健康に関する関心は高い。「小さいころからバランスよくかけて、外耳、中耳、内耳に分けられます。外耳や中耳の異常で起こる難聴は、補聴器などをつければ改善されますが、内耳およびそれより奥の神経の故障によるものは、治療が難しい場合もあります。

乳幼児の難聴　ふだん音に対して反応をするかどうかをみましょう。例えば、手をたたいてその方向を向くかどうかで判断します。心配な場合は、耳鼻咽喉科医に相談しましょう。

学童の難聴　授業中の先生の声が聴こえにくいというような場合は、早目に医師に相談にいきます。

ヘッドホーンなど騒音による難聴　騒音でも聴力は低下します。騒音の多い場所は造船所、工場、建設所、飛行場、高速道路、鉄道の近くなどや、最近ではディスコホール、カラオケなどの新しい場所も増えています。また、小さなヘッドホーンをつけて街を歩く若い人をよく見かけますが、小さいスピーカーでも鼓膜の直前にあっては、絶えず大きな音にさらされているのですから、普通の会話の音の範囲では気づかないうちに、はじめは大きな音、そのうちに低い音まで聞こえなくなってきます。難聴の範囲は、知らないうちに広がりますから注意が必要です。個人で聴くヘッドホーンは、音量をしぼって聴くようにしましょう。

即売会に主婦殺到

～農業祭開かる～

実りの秋を迎え、生産と消費を結ぶ農業祭の「農産物即売会」が十月十六日、市内三会場で行われ、多くの市民でにぎわいました。

この催しは、今年七回目を迎え、収穫の喜びを生産者だけでなく消費者からも味わってもらうため、市内の農協とタイアップして行っているものです。

市役所本庁前には、ダイコンのとれたて食事が大切。だから、幼児のための甘くないおやつ、野菜を使った料理の普及にも力を入れています。

献立の味見役はご主人と子供さん。「食卓に出してじっと顔を観察、何も言わなければOKです」。同居しているお嫁さんが「料理学校へ行くよりもお母さんに習ったほうがいいと言ってくれます。食で家庭円満ですよ」と楽しそうに話す。

「十五年のひと区切りに」今まで講習会に出した献立の中から、特に好評のものを選んで料理集を作る。「元気で長生きできるように、もっとがんばらなければ」。また新しい出発である。

市価より2,3割安いとあって主婦らに人気を呼びました(市役所前で)

58年度 保育園児を募集

～明日から～

昭和五十八年度の市立・私立保育園児の入園申請を十一月一日(明日)から十日までの間、保育園で募集します。(詳細は十月十七日号に掲載されています)

入園を希望される方は、入園を希望される保育園から入園申請用紙をもらって、その保育園に提出して下さい。

詳しくは、市立保育園は市福祉課(電話28―一〇〇〇番)、私立保育園は各保育園へ。

58年度 看護学生を募集

～市立看護専門学校～

募集人員　三十人
修業年限　三年
受験資格　高等学校を卒業した人、および昭和五十八年三月卒業見込みの人で、心身共に健康な人
願書受付期間　昭和五十八年一月五日～二十一日(当日消印有効)
試験期日　昭和五十八年二月一日、二日
試験内容　適性検査、学科試験(必須科目:現代国語、数学I、英語B　選択科目:生物I、化学Iのうち一科目)、健康診査、面接
願書申し込み　新潟市立看護専門学校(紫竹山二丁目六番一号)

難聴とヘッドホーンなどの騒音

病気による難聴　耳は大きく

婦人の健康と貧血予防講習会

日時　11月8日午後1時半～3時半
会場　東保健所　※お気軽にどうぞ
問い合わせ　東保健所へ

保健婦による健康相談

地区	月日	会場	時間
大形	11・4	本所公会堂	午前10時～午後3時
坂井輪	11・4	自由が丘福祉会館	
松浜、南浜、湊川	11・5	北地区保健センター	

※正午から午後1時まで受け付け休みます。

医師による一般健康相談

月日	会場	時間
11・5、26	西地区保健センター	午前10時～11時半
11・12、19	坂井輪地区保健センター	

健康づくり うす味料理講習会

日時　11月5日午前10時～午後零時半
会場　西保健所
内容　うす味でおいしい食事の工夫、調理実習、試食ほか
持参品　みそ汁の汁のみ牛乳びん半分位、エプロン、三角きん
問い合わせ　西保健所へ

むし歯予防教室

対象　幼稚園・保育園年長児と保護者
内容　歯科医師による講演、歯みがきの練習・検診
持参品　母子手帳、子供用歯ブラシ、コップ、手鏡
申し込み　電話で各会場へ

月日	会場	時間	定員
11・10	鳥屋野地区保健センター	午後1時半～	各30人
11・12	石山地区保健センター		

成人病食事相談

日時　11月9日午前9時～11時
会場　東・西保健所
申し込み　電話で各会場へ

育児相談

日時　11月8日午後1時～3時
会場　鳥屋野地区保健センター
持参品　母子手帳

安産教室

(3回で1コース)

対象　58年3・4月に分べん予定の妊婦
日時　11月9日午前9時～受け付け、正午終了予定(2、3回目は来所時に予約)
会場　西保健所　**定員**　20人(先着順)
内容　妊娠中の生活・歯の衛生、妊婦体操、産後の家族計画ほか
持参品　母子手帳、筆記用具、ズボン
申し込み　電話で西保健所へ

保健所・保健センター電話案内

東保健所	☎41―4111
西保健所	☎66―5171
石山地区保健センター	☎86―4450
鳥屋野地区保健センター	☎85―2373
北地区保健センター	☎59―7332
西地区保健センター	☎62―3405
坂井輪地区保健センター	☎60―3255

妊婦相談

持参品　妊娠届出書、健康保険証、印鑑、本人名義の銀行預金通帳(国保加入者は不要)

月日	会場	時間
11・17、24	西保健所	午後1時～2時半
11・19	西地区保健センター	午後1時～2時
11・10	坂井輪地区保健センター	